

宇治情報

No.116

(体験集通算 466号)

# 宝蔵

## 実相独在の靈光

生長の家宇治別格本山 練成部 部長代行

清水 志郎

合掌ありがとうございます

宝蔵会の神の子の皆様、常日頃より宇治別格本山への多大なる御愛念を賜り心より感謝申し上げます。

『よくしてやる』という思い上りをすて去ることだ。『ああ、相手はよかったのだ』と実感する。それが実相をみるということである。そのように実感しなくてはうそである。それは理屈ではなく、全生命的体験である。『生長の家』は単なる処世術や修養法ではない。『神の子』の実相のみ独在することへの強烈な信仰である。それは烈々たるものだ。』



（『人生の断

想』二二九〜二三〇頁）

少し前の事になりますが、テレビにて国連難民高等弁務官として活躍された故・緒方貞子さんに関する番組をやっていました。その中で、緒方さんの国連での最後のスピーチの結語は「難民に尊厳を！」という言葉であったと云う話がありました。そして、その番組内で、現在も国連で難民の支援活動をされている出演者の一人が、「私達は、難民の方々への観方を変えることが大切です。我々は普通、難民とは困難に巻き込まれ自分の力で生きることの出来ない弱い人達であると云う認識をもっていますが、実はそれは全く違います。難民の方々は、猛烈に困難な境遇の中に置かれていながらも、そこを生き抜いて来た、また生き抜こうとしている素晴らしい生きる力を内在した人達なのです」と、この様な趣旨の発言をされていました。

（次頁に続く）



私はその言葉に大変感動いたしました。それは、現象的立場という一面観からの見方とは全く異なる霊的生命からの観方であり、生命の無限力を引き出す光の観方であり、神の子実相を拝み、生命の輝きを拝み、すべてを生かしていく日時計主義の観方であると想いました。そして、この実相直視の観方には、緒方さんが結語で示された「尊厳の光・尊敬の光」が今此処に輝き満ちており、この観世音菩薩の御光を礼拝する信念こそが、実相世界を実人生に持ち来たすエナジーなのだと思いの内より直観いたしました。

練成会には、悦びの信仰に目覚めた方々と同時に、深刻な人生問題を抱えた方々も多く参加されました。私自身も、二十数年前に引き籠りとなり、うつ病となり参加した者です。しか

しその姿の真実の意義は、決して弱さの証ではなく、迷いや業の流転に打ち負かされた能力の足りない者の姿でもなく、それとは全く異なり、神様から豊かなる霊的天分と素晴らしい愛の使命を授けられた神の子であり、その体験を通し、多くの方々への希望の光となり、神の栄光を全世界に持ち来たす、神に

● 随想

## ご先祖様に感謝

祝福されたる選ばれし者 であるのだと確信しております。

この八月には、盂蘭盆供養大祭が執り行われます。霊界の御霊さまと共に、生長の家の尊い御教えに、「全生命的体験」をもって感謝合掌し、「人類光明化運動」「国際平和信仰運動」に邁進させていただきます。

管理部 課長補佐

小野 大作

宝蔵会の神の子の皆様、合掌ありがとうございます。八月はお盆がある月です。御先祖様に日頃の感謝を捧げる期間です。宇治別格本山でも限定的な開催になりますが盂蘭盆供養大祭が行われます。

大聖師谷口雅春先生著『人生を支配する先祖供養』の中に、「今まで色々と子孫が受けてきた密れたる御恩、陽な御恩に対して唯感謝のために」といってお言葉があります。

「密れたる御恩」というのは、我々が

気付かない日頃の何気ない事でも御先祖様から御恩をいただいているということです。今我々が平穩に生かされているのはご先祖様の御恩のお陰であるといえます。

私にも、その御恩を受けたのではないかと、という体験があります。

約二十年前、引きこもりだった私は実家の三階の部屋に閉じこもっていました。決して何の目的もなく部屋から出ることは無かったです。しかし、ある日何の理由もなく部屋から出て階段

を下りました。そして、ふと二階の奥にある仏壇が視界に入りました。すると、火のついた線香が下に落ちてクッションが燃え始めているではありませんか！急いで消火して大火事になるとを防げました。今思い出してもゾッとします。何度考えても何故あのタイミングで仏壇を見に行ったのか説明ができません。不条理です。証拠はありますが、私はその時御先祖様が護ってくださいたと信じています。

それ以外でも、自死しようとして遺書を書いたら、不思議と強烈な眠気に襲われて眠ってしまい、目が覚めると死ぬ気が無くなっているという事が数回ありました。私は遺書を書いていたら何らかの力で眠らされるということを学習しました。次は眠らされても目が覚めたら必ず死のうと決意して眠りました。目が覚めたら母が、「家の前の溝に子犬がはまり込んでしまっ、一晩中鳴いていた。救助して公園に逃がしてきた」と言うのです。私は「そんな子犬を公園に逃がしたら死んでしまう。何をしているんだ。早く助けてき

て」と怒りました（引きこもりの癖に偉そうな…）。私はそんな事を言ってしまった手前、その子犬を飼わなければいけなくなったので死ぬことができなくなりしました。しかも、その数年後に同じようなパターンで子猫も来たのです。御先祖様は犬や猫を使いにするみたいですね（笑）。

私だけでなく、皆様も今現在生きて

## 第六一四回 短期練成会

体験感想文

H. I (40代〈女性〉)

数年前から子育てに行き詰まり、なぜこんなにしんどいのか？と日々悩んでいた為、生きつらさを感じていた長男と練成を受けたいと願い、練成がやっと再開したので、長男の学校を休ませて一緒に参加しました。子育て期の練成は初めてで、もともと早くに参加がしたかったです。

長男との衝突が多かったが私がほめ

いるという事それ自体が御先祖様の御恩の賜物です。唯感謝の心で御供養させていただきます。



せていただきます。

て育ててあげることが出来ず、子供を信じ放してあげなければいけないのに、我が育児でがんじがらめにしてしまっていました。「家のルールを守らない」という理由でどんどん自由がなくなってきた息子、そりゃ生きづらくなるはずですよ。本当に申し訳なかったな、と気付く事ができました。「子どもは神様からのおずかりもので、神の子は神が育てる」と聞いていながらも、全く放せてはいませんでした。

これからは、長男の（6頁に続く）

## ◆ 8月 宇治別格本山で執り行う祭典予定 ◆

- 5日(月)10:00～ 末一稻荷神社祭  
精霊招魂神社祭
- 7日(水)14:00～ 霊牌合祀祭(命日供養祭は繰り上げて実施)
- 9日(金)14:00～ 霊牌合祀祭(命日供養祭は繰り上げて実施)
- 12日(月)13:00～ 霊牌合祀祭(命日供養祭は繰り上げて実施)
- 13日(火)10:00～ 全国流産児無縁霊供養塔供養祭
- 14日(水)13:00～ 霊牌合祀祭(命日供養祭は繰り上げて実施)
- 16日(金) 5:40～ 送霊祭 みたまぬきの儀  
7:30～ 送霊祭 霊牌奉送の儀
- 17日(土) 8:00～ 御神火奉載の儀  
8:30～ 送霊祭 浄火の儀
- 18日(日)16:00～ 自然災害並びに世界規模感染症物故者追悼慰霊祭
- 19日(月) 9:00～ 宝蔵神社盂蘭盆供養大祭 本祭
- 20日(火) 9:20～ 霊牌焼納予備日
- ☆8月7日、9日、12日、14日～20日の命日供養祭は繰り上げて実施いたします。



※ 「盂蘭盆供養大祭本祭」「自然災害並びに世界規模感染症物故者追悼慰霊祭」につきましては、近隣教区から推薦された参列者のみのご参列とさせていただきます。ご理解のほどよろしく申し上げます。

## 霊牌奉送の儀



## 霊牌合祀祭



浄火の儀



自然災害並びに  
世界規模感染症  
物故者追悼慰霊祭



宝蔵神社盂蘭盆供養大祭 本祭



(3頁から続く)事も好きなパソコンを思いきりさせてあげようと思いましたが。家では仕事のストレスで怒ってばかりで笑顔もなかった事を反省しました。元々はよく笑う性格なので家でも明るく笑いたいなと思えました。

何回来ても宇治は落ち着きます。次は下の子ども連れて参加したいです。大好きな場所なのでまた練成に来ます。

N. K (60代) (女性)

先月の短期練成会に引き続き、十月に生まれる予定の孫の実相顕現を祈り参加しました。前回の練成会では「神様に全託します」と決意を發表したものの、やはり足は宇治へと向かいました。羊水検査では染色体異常は認められなかったものの依然として全身の水腫が認められ、経過観察が必要な状況が続いています。息子のお嫁さんからは臍の尾の血管の力が弱まり、心音もたまにゆっくりになっていると聞いています。

講話で「神のお造りになったものに不完全はない」「不完全が現われるの



れさせていただきました。

そして浄心行の意義・説明では、亡き父の人生を振り返り、二歳の時に養子として実家を出た父は寂しく、悲しい人生だったなと娘として慰めたい気持ちで湧いてきました。先月とは違い父への深い感謝を出せた浄心行になりました。家族の愛を感じるのがむづかしかった父でしたが、私は今の家族の状況から沢山の愛を感じています。

異常が有ると知りながらも、息子夫婦は赤ちゃんを信じ、必死に生命を守ろうとしています。そして家族のためにいつも一生懸命の夫は練成を一緒に受けてくれました。これからも皆に愛を伝えていこうと思います。ありがとうございました。

は消えていく姿」と力強い言葉を聴き、素直に受け入

E. A (60代) (女性)

六月末頃に宇治へ神癒祈願を出してこの練成会がある事を知りました。今から十六年前、夫が難病になり、なんとか治したい一心で娘二人と宇治練成会に参加した経験がありました。夫は昨年三月に七十一歳で昇天しましたが、十六年ぶりに参加したいと思い、出かける環境にあったので、土日の一泊二日ですが、来る事が出来ました。感謝です。

六月末に知り合いが人工血管置換術という手術をすると言ったので、祈願を宇治に出して、手術の日は、朝から私を含め六人で『続々甘露の法雨』を誦しました。それが良かったのか手術も無事成功し、五日目には点滴以外の管かとれ、本人から電話があり、「どこも痛いところはなく、少し手術した箇所が違和感がある位で、病院内を歩いてリハビリをしている」とか「術後一ヶ月の入院予定が二週間後の検査結果が良ければ退院出来ると言われた」ことを伝えられました。まさに祈りがき

かれたと思えました。ありがとうございます。

「私は神の子、あらゆる点で益々良くなる。絶対良くなる、一層よくなる、必ず良くなる、良くなるしかない」この言葉が夫は好きだと言っていたのを思い出しました。

淨心行では「お父さんありがとうございます。お母さんありがとうございます」と何度も何度もくり返し言っています。涙があふれて来ましたが、きつとこの感謝の気持ちは届いていると確信できました。

次回は九月に参加出来るといいなと思っています。今回参加出来て幸せです。

M. S

(50代) (女性)

治病の不安、あと少しの不安を取り除きたいと思い参加しました。

二月に手術前に受けた練成会の時とはまるで違って、ボールペンがうまく使えてうれしい、おはしがうまく使える、のりの袋が切れる、うれしいことだらけ。真理の言葉がスルスルと入っ

てきました。

座談会の時の講師のお言葉で、「お父さんお母さんが喜びで産んでくださったことに感謝。愛されて生まれて来た私が素晴らしい！」この言葉で私は救われました。私は小さい時から悲しみにフタをしていたのです。知らないうちに…。

私は悦びの中で生まれて来たのだから幸せになっていい。父は早く亡くなって悲しんでいると、勝手に思いこんでいただけでした。何だか胸がスーッとしました。それからの淨心行では講師の先導がすばらしく、とても力強く、涙があふれ出して、お父さんに「ありがとうございます」と感謝の気持ち伝えられた、と実感がわきました。ありがとうございます。



どの

講師のお話も

素晴らしく、

とても

書ききれない

程感動しました。榎本講師の「自分の力はいらない。私の努力はいらない。がんばりもいらない。私は神の子ですのままですばらしい存在だと自覚すれば一瞬でパッとひらける」「現われは消えていく為におこっている。終わったんだ。出たんだ。済んだんだ。あーよかったです。済んだーと喜ぶと良いことがどんどん出てくる」と仰られた言葉がスツと入ったので、毎日念じて明るく生長の家を行じたいです。ありがとうございます。

M. K

(40代) (男性)

私が今回練成会に参加した動機は、四月から人事異動により部署異動となり今の自分の状態では職場に迷惑がかかるかもしれない、何とか打破したい、神様に協力してもらいたいと思いついて参加しました。

でも心の底では、私が神様に全託するという事がなかなかできない人間なので何も変わらないかもしれないという思いがあったので、考え方を変えてご先祖様と一緒に一家の代表として練



成を受け  
てみよう  
と思いま  
した。  
体験と  
しては、  
開会のあ

いさつ講話の中で、「私達は出発点から健康。病気だから健康にするとかではない」という言葉が心に響きました。私は本当にそれとおりでと思いましたが、私のような人間は努力しても幸福になれないと思っていました。でも講話の中で「自分の力はない。自分でなんとかしなければならぬ」と思っておりません。という言葉を受け安心しました。その後の岡田伊都子講師の神想観実修、榎本講師の実相円満通行が素晴らしいです。神想観も実相円満通行も参加者みんなで輪になって行じたから分かりませんが、不思議と涙が溢れました。心が温かくなる瞬間でした。また、庄巻だったのは浄心行でした。いつもなら自分の父親と母親への感謝通行で涙するのですが、今回は一所懸命な参加者の皆様の声と清水講師の声

に感動して涙しました。浄心行で会場が本当に浄まった感じと皆が一つになった感じがして大感動いたしました。浄心行が終る頃、妻と娘を想い浮かべると満遍の笑みで私にほほえんでくれ

## 宇治別格本山 研修生感想文

K. K (10代(男性))

ている思いがしました。  
また練成会に参加したいと思います。次回も一家を代表して参加すると思います。来てほしいと思いました。ありがとうございました。

自分は大学受験に失敗し、俗に言う浪人生という立場に今あります。今年の六月に就活を終え結果待ちです。結果が出るのが七月末とかなり遅く、それまで暇なので「どうせ家に居るなら宇治に一ヶ月行つてこい」と母に言われ半強制的に宇治に来ました。

正直最初の頃は宇治の生活が嫌だったし、生長の家自体に関しても、意味

が分からない事を教える不思議な集団というイメージを持っていましたし、今も少し持っています。しかし、今回の練成を通して不思議な集団と言うイメージが不思議だけど良い集団に変わりました。イメージが変わった要因は色々ありますが、一番大きな要因は浄

心行だと思えます。浄心行を終えた後の参加者の方々の晴れ晴れとした顔を見て、浄心行の効果に驚かされ、浄心行って凄いなだな」と思ったのと、同時に生長の家の教えのおかげで救われている人達の多さを知りました。これを知れただけでも今回の練成に参加した意義があつたと思います。ありがとうございました。





## 「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

J. U (70代) (女性)

何年かぶりで宇治の「一日講話」を受けました。病院から退院して一週間しか経っていない身体でしたが、どうしてもお話を聴きたいと思いました。

四人の講師のお話は、自分のために話してくださいっているように思いました。「実相と現象」のお話では「現象は本来ない！病気も本来ない！病気は現れたら消える」と話していただきました。自分が病気になったとき、「現れたら消える」ということをすっかり忘れていました。

「神を愛し、自分を愛せよ」の講話の時、「私は今まで自分を愛していません。たなあ」と思い出しました。神の子の私は神様から愛されていたんだと気づくことが大切なことだったのです。これからは自分を愛そうと思います。

悪いことが起こってきても、感謝の

気持ちを持つことで悪しき想念は消えていくと知り、心がスッキリしました。「病気は現れたら消えていく」この言葉に信じていきます。

また、個人指導をしていただき、両親のことを聞かれたので、話をさせていいただきました。家に帰った月曜日、仏壇の前で聖經をあげていると、涙が流れてきて「お母さん、さみしいよ、さみしいよ、さみしいよ、さみしいよ、さみしいよ、さみしいよ、さみしいよ」と泣き続けました。悲しみを吐き出せたことはやはり「一日講話」を受けたおかげであったかと思えます。これからは実相の父、母の愛を受けることを人生の目的にしていきたいです。

T. T (50代) (女性)

合掌ありがとうございます。

一日目のご講話で「実相と現象」を聴き、現象にとらわれて苦しみ、悩ん

だりしている自分を改めて知り、実相を拝み、認めるだけで良いんだと思いました。現象は消えていく姿（過去）だと思つことが出来ました。

榎本講師の「そのまま完全円満、何があっても困らない」というご自身の体験を交えてのお話をより身近に感じ、そのように実践してみようと思えました。

二日目のご講話で「相手を良くしよう」と拝むことは今を悪いと思つていこととあり、相手が良かったんだと実感することが本当に拝むこと」ということが分かり、すっきりしました。

これからも教えを学びつづけ、心を光明化していきたいと思えます。講師の方々、職員のみなさま、温かい愛情をありがとうございます。

R. O (50代) (女性)

「神は愛なり」。いつも聞いている言葉でしたが、全体的な愛＝神様の愛について考えました。「最も尊いこととは本当の自分を観じ生きる」というお話がありました。とても印象に残つ

ています。

「祈りが尊いことであり、祈りつつけることで環境も変わっていく」「自分の心が変われば相手も変わる」「現象にとらわれて愛することを忘れて」「祈りつつけるといつのまにか現象にとらわれないで乗り越えることができる」。基本的なお話ですが忘れていることが多くて再度勉強になりました。

「神の子である今の自分を喜ばない



### 〈神癒祈願のお礼状〉

#### 乳がんが快癒

S. T (女性)

令和元年に乳がんになり、知人の勧めで初めて一般練成会を受講しました。手術後の体調不安がありましたが大祭奉仕も体験させていただきました。

といけない」と聴き、なんとかして状況を変えようとあせっていたことに気づきました。つかんでいるものを放すことがなかなかできませんでしたが、ここで放して帰ることにします。新しく生まれかわったような気がしました。すばらしいお話ありがとうございます。

帰宅後はすぐ現在のお仕事を授かり、生活できております。三年後に再発しましたが、神癒祈願のお陰を頂き、一泊二日の入院手術ですぐに職場復帰できました。ありがとうございます。

先日、エコー検査の結果で異常が見つかり、手術しようとの診断でした。すぐに神癒祈願をお願いしたところ、後日のCT検査結果は良性で要観察になり、入院も手術もすることなく喜んでおります。また、緑内障の治療中で視力も弱いのですが、運転免許証も奇跡的に更新ができました。昨年九月には、二十年來病んでいた

左足股関節の手術を受け、素晴らしい医師により一ヶ月で退院できました。入院中は聖經をあげて過ごしました。病なし、現象なし、実精神の子完全の真理の杖を持ちながら、精進努力しております。ありがとうございます。

#### 父母に感謝

J. M (女性)

「近くに道場があるでしょ。すぐに行きなさい」。子宮頸がんの疑いがあると検診で診断され、すぐ母に報告の電話をすると、そう言われました。子どものときから母に連れられ、宇治別格本山へお参りには行っていましたが、結婚してからは、生長の家とのつながりは、母が毎月別格本山へ納めに行ってくれる聖使命会費と、感謝御礼の神癒祈願となっていました。御祈願料は預けていたとはいえ、後のことは全て任せっきりでした。

母からの言葉を機に、私は道場へ個人指導をお願いし、母は宇治別格本山

へ神癒祈願をお願いしてくれました。何度か一緒に道場へも行ってくれました。久しぶりに道場で感じる生長の家の清々しい雰囲気、私は身体の力が抜け、とても楽になったのを覚えています。

その後、詳しい検査の結果、子宮頸がんであることが確定し、大ききから子宮と周りの組織の摘出が必要、場合によってはその後抗がん剤治療もあり得ると言われました。シヨックではありましたが、道場の先生からの「いつもの瞬間も神様と一緒にですよ」という言葉と、母の励ましの言葉を胸に、不安を振り払う毎日でした。

入院前に、神想観のご指導までしていただいた時、母に対してこれまでの人生の中で、自分が抱えていたわだかまりに気付きました。「こんな思いを持ったままでは、いくら神様に感謝をしても届かない」と思い、母に思いの丈を伝え、母はそれを全て受け入れて聞いてくれました。「神に感謝しても、父母に感謝し得ない者は神の心になわぬ」と、お聖經の言葉を読む度に涙が

出てきました。

その頃から私の頭の中には、お聖經で丁寧丁寧に隙間なく包まれた、子宮のイメージが浮かんで離れませんでした。「こんなに大切に護ってくださいている。もう大丈夫だ。手術は成功し、病気は治る」という思いが湧き上がり、手術当日も、とても落ち着いて臨むことができました。手術後に主治医から、「子宮と周りの組織の癒着もなく、とてもやりやすい手術で予定より一時間早く終わりました。出血も少なかつたので、輸血用に採っておいたあなたの血液もプラスになって体に戻っています」と聞き、お聖經で子宮が包まれている意味がスツと私の心に落ちて、心から感謝の気持ちが出てきました。手術後の病理検査の結果では、がん細胞を全て取り切れており、抗がん剤治療の必要はなく、定期検診で今後見ていくとのことでした。

今回のことで多くの方にいただいたご愛念に、感謝しありません。なにより私が生長の家から離れていた間にも母がつかないでくれていたおかげで、自

分が救いを求めたときにすぐに手を差し伸べていただくことができたと感じています。

「汝らの兄弟のうち最も大なる者は汝らの父母である。」改めて、大切に護り育ててくれた亡き父と心身ともに支えてくれた母の愛の深さに感謝しています。

## 家族の祈願成就

K. U (女性)

夫の不整脈・カテーテルアブレーション治療が無事に終了し、二日後には退院することができました。現在は自宅療養をしています。経過は良好です。

また、娘家族の家は新築二年ですが、坂道が多いため売却をお願いしておりましたところ、五月二十六日に売却の手続きが終了しました。今は、別のところに引っ越しております。

本当にありがとうございました。

## 《開催予定の行事》

### 「短期練成会」

- ・夏期短期練成会  
8月23日(金)～25日(日)に開催
- ・短期練成会  
9月6日(金)～8日(日)に開催

※要予約となります。宿泊で参加の方は前々日となる木曜日まで、日帰り参加の方は参加前日までにお電話（0774-21-2153）でお申し込みください。

その他詳細につきましては、プログラム（ホームページ、フェイスブックよりご覧いただけます）に記載されていますのでご確認ください。ご不明な点等ございましたら、お電話でお問い合わせください。

### 「ご先祖と共に悦びの一日講話」

※毎月第二週以降の土日に開催しておりますが、8月は開催いたしません。9月は開催予定です。プログラムは8月21日以降にホームページ、フェイスブックに掲載いたしますのでご確認ください。



## 霊牌について

- ◎ 従来通り霊牌はお送りください
- ◎ 今月は本山員が招霊を行います
- ◎ 締め切りは8月13日必着でお願いします  
(荷物表紙には「霊牌在中」とお書きください)



## ★ オンライン個人指導(無料)の案内 ★



時間：9:20～12:00、13:00～16:00

※お申し込みにより日程を調節します

担当講師：清水志郎本部講師、榎本一子講師、岡田浩二講師

使用媒体：Zoomまたはメッセージ

お申し込み方法

：メールアドレス [rensei@uji-sni.jp](mailto:rensei@uji-sni.jp) またはFacebookページ「生長の家宇治別格本山」までメッセージをお願い致します。メッセージにお名前、電話番号・希望日時を記入し送信してください。担当講師等の連絡事項を返信いたします。



宗教学 生長の家 宇治別格本山  
京都府宇治市宇治塔の川 32  
Tel.0774-21-2151  
[www.uji-sni.jp/](http://www.uji-sni.jp/)

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。